

令和5年度米陸軍との実動訓練(オリエント・シールド23)の概要

名称	本訓練の通称:OS23(オリエント・シールド23)			
訓練目的	陸上自衛隊及び米陸軍の部隊が、それぞれの指揮系統に従い、共同して作戦を実施する場合における相互連携要領を実行動により演練し、共同対処能力の向上を図る。			
日時	令和5年9月14日(木)～9月23日(土)	場所	東千歳駐屯地、上富良野演習場、矢臼別演習場、静内対空射場、帯広駐屯地、丘珠駐屯地、奄美駐屯地、瀬戸内分屯地等	
参加部隊	陸上自衛隊	北部方面総監部、第5旅団、第1特科団、第1高射特科団、第1電子隊、北部方面システム通信群等		
	米陸軍	在日米陸軍司令部、第1マルチドメイン・タスクフォース、第5-20歩兵大隊、第1-181野戦砲連隊、第38防空砲兵旅団、第10支援群等		
特色	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1マルチドメイン・タスクフォースとの共同対艦戦闘訓練等を実施し、陸自CDOと米陸軍MDOを踏まえた日米の連携要領を演練 ○ 米小型揚陸艇部隊と陸自部隊との初の連携訓練として、島嶼部の特性を踏まえた補給品等の事前集積、追送等を演練 			
訓練の概要	指揮機関訓練	東千歳駐屯地において、日米共同での共同対艦戦闘に係る指揮所訓練を実施		
	実動訓練	<ul style="list-style-type: none"> ○ 矢臼別演習場において、陸自多連装ロケットシステム(MLRS)、米陸軍高機動ロケット砲システム(HIMARS)等による実射訓練を含む対艦戦闘訓練を実施 ○ 上富良野演習場において、対戦車ミサイル、砲迫等の実射を含む米陸軍歩兵部隊との共同戦闘訓練を実施 ○ 沖縄本島及び奄美大島において、米小型揚陸艇と連携した補給品の事前集積・輸送に係る訓練等を実施 		
訓練のイメージ	 <p>日米共同による指揮機関訓練の景況</p>	 <p>多連装ロケットシステム(陸自)</p>	 <p>高機動ロケット砲システム(米陸軍)</p>	 <p>米小型揚陸艇による補給品輸送の景況</p>